

進学 Now!

石橋高校
進路指導部
保護者版 7月

2024.7.10

0. はじめに

短縮45分日課の開始と共に、合唱コンクールの練習が始まりました。進路室に聞こえてくる曲の美しいハーモニーが、一学期の終了と猛暑の到来を感じさせてくれます。夏休みには3年生は3者面談、1・2年生は保護者面談が行われます。クラス担任にとって、生徒の家庭での様子を直接知ることができる貴重な機会となります。学校生活や学業成績、進路選択など疑問点がございましたら、積極的にご質問ください。

また、多数の大学でオープンキャンパスが実施されます。大学の雰囲気を実際に体験できる貴重な機会ですので、保護者の皆様も是非一緒に大学を見学頂ければ幸いです。

忙しい日々が続きますが、体調管理と学習習慣の継続に心掛け、充実した毎日が送れるようご指導ください。また、この機会に、将来についてご家族で話し合う時間を作ってください。よろしくお願いします。

1. 入試の変化について

昭和の頃の受験とは大きく異なり、平成・令和の受験は「少子・高齢化」「国際化」「情報化」など社会の変化に対応した、新しいタイプの受験に変化してきております。

具体的には、社会体験や研究活動への参加といった、生徒の興味・関心への前向きな取り組みが評価される新しいタイプの入試も始まっています。筆記試験のみの評価と思われがちな一般選抜でも、主体的な活動が様々な方法で評価されます。そのため、本校で実施している「テーマ研究」は大きな助けになります。特に3年生は、昨年実施した研究内容の見直しをしておく、役に立つ機会があると思います。

5年目を迎える「共通テスト」は、以前の「センター試験」と比べて、「思考力」「判断力」「情報分析力」に力点を置いた問題に変化しました。試験問題に使用される文字数が格段に増加し、「読解力」が重要になってきています。今年度からは新課程入試となり、試験時間の延長、出題形式の変化、教科「情報」の導入などが行われます。保護者の皆様も大学入試センターが公表している「試作問題」をご覧ください。入試の変化を肌で感じ取れると思います。

私立大学の状況も大きく変化しています。難関私大も含め、受験生が急激に減少し始め、[今春の定員割れの私大は53.2%](#)と過去最高を更新し、ついに5割を上回りました。本校卒業生の入試結果を分析しても、大学全入と淘汰の時代を年々感じ取れます。事実18歳人口は平成4年度の205万人をピークに、令和5年度は約110万人まで減少しました。保護者の皆様が受験生だった頃の常識が、崩れつつあるのは間違いありません。[「入れる大学に入るのではなく、入りたい大学を目指せる力をつける」](#)ことがより重要となってきます。

国の理系拡大の方針に伴い、理工系・情報系の新增設と定員増が相次いでいます。また、理工系の女子枠拡大や女子大再編の動きも見すごせません。大学からの情報にご留意下さい。逆に、ネット上には根拠のない無責任な情報も数多く流れております。惑わされないよう十分にご注意ください。

2. 3年生のこの時期

6月14日の3学年部会では大変お世話になりました。学年部会で配布した資料を参考に、保護者の皆様も、受験への準備に対しての心づもりをして頂ければ幸いです。

7月19日、20日実施の全統模試は、ICプレーヤを用いてリスニングを実施します。イヤホンが不適合の場合、申請書を共通テスト利用大学に提出する必要がありますが、ヘッドホンでの受験が可能です。まずはICプレーヤーをお試し頂きたいと思います。

この時期以降は、模試の結果も随時返却されるため、不安や焦りが出始める頃かもしれません。しかし、結果が出始めるにはどうしても時間が必要です。直近の結果に一喜一憂せず今後の頑張り期待して、温かく見守ってあげてください。生徒たちも、大学入試の厳しさに気づき、[「大きな壁」に直面することでしょう](#)。そんな時、大切なのが保護者の皆様の「前向きな応援」の言葉です。今後に向けての明るい展望が持てるよう励ましてください。学校側もできる限りの支援を行ってまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

3. 2年生のこの時期

学校行事でも部活動でも、中心的な存在として活躍する大舞台がやってきました。進路につまましては、前述の通り「総合的な」人物評価を求める入試が拡大してきており、単なる学力ではない、[様々な魅力を持つ人材が求められる時代](#)になりました。部活動・学校行事・テーマ研究など様々な活動に幅広く興味・関心を広げ、教養を高めていく姿勢が大切です。

学業の方では、2年生の1学期末から2学期中盤にかけて、特に成績が大きく動く大切な時期でもあります。学習時間を最大限確保し、学習習慣を崩さないよう家庭でもご指導をよろしくお願いします。また、秋以降は校外模試の実施回数が増えます。11月からは「地歴公民」と「理科」が加わり5教科受験となり、2月からは教科「情報Ⅰ」も入ります。[秋にはコース選択](#)もありますので、夏休みのうちに第1志望の大学・学部を絞り込んでいくことが求められます。

4. 1年生のこの時期

[2学期に文理選択が行われます](#)。将来の自分の生き方や学びたい学問などを総合的に判断して、進路を選択する第一歩となります。学部名やイメージに頼った短絡的な選択はミスマッチにつながりかねません。幅広くリサーチし、多面的に学部選びをするよう家庭でもご指導願います。

本校では5年ぶりとなる、東北大学オープンキャンパスツアーを実施し、1年生が多数参加します。オープンキャンパスは、大学の理解のみに止まらず、学部学科の細かな選択にもつながる貴重な機会です。自分の進路に応じた見学プログラムを選択し、目的意識を持って積極的に見学することが進路選択の一助となります。

毎日の生活リズムをしっかりとつかみ、部活動と学業の両立を図り、適切な進路選択をするという困難な課題ではありますが、本校生の活動は、この時代に適合していると思います。授業、部活動、学校行事など[一つひとつを大切に、全力で](#)取り組ませていただけますよう、サポートをお願い申し上げます。

5. おわりに

「進路＝進学」ではありません。進学するために高校生活があるわけでもありません。学校生活を通じて、将来につながる様々な経験を積み、青春の短い時間を輝かせながら、未来を切り拓く力を身につけてほしいと願っております。大切なのは、「仲間」「保護者」「教員」の協力体制です。ともに高め合う仲間を得て、温かく見守っていただける保護者のもと、適切な指導と情報提供のできる教員が協力していく体制を築くことが、何よりも大切です。お子様の希望をできるだけ叶えられるよう、全力で支援して参りたいと思います。今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

進路指導部